

20歳から子宮頸がん検診、40歳から乳がん検診

子宮頸がん検診

子宮頸がん検診の流れ

STEP1 予約する

検診日や予約方法を確認し、実施医療機関を予約します。
※生理日以外で受診してください

STEP2 受診する

問診

問診票を記載し、診察室で医師からの質問に答えます。

視診

陰鏡を膣内に挿入し、子宮頸部に異常がないかを観察します。

細胞診

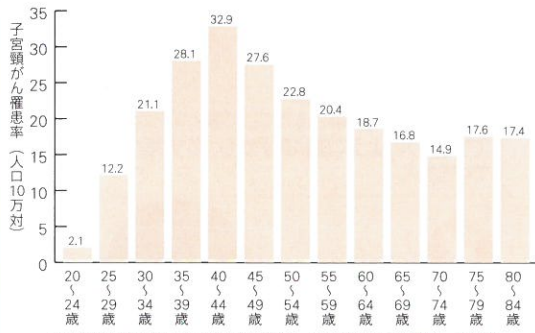
ブラシなどで子宮頸部をかくくすり、細胞を採取します。
痛みはほとんどなく、短時間で検査は終わります。

STEP3 結果を確認

20歳以上の方は、子宮頸がん検診を2年に1度必ず受診してください。



子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんで、近年は20～30代の若い女性に増えています。



子宮頸がんは20代後半から増えるがんです。早期ではほとんど自覚症状がありません。

子宮頸がん検診は、がん化している細胞があるかどうかだけでなく、がんになる前の細胞の異常もつけることができます。

早期のうちに治療すれば、90%以上が治癒し、子宮を摘出せずに治癒できるので妊娠・出産も可能です。

※気になる症状がある場合は、医療機関を受診してください。

出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター 地域がん登録全国推計から (2012年)

乳がん検診

乳がん検診の流れ

STEP1 予約する

検診日や予約方法を確認し、実施医療機関を予約します。

STEP2 受診する

問診

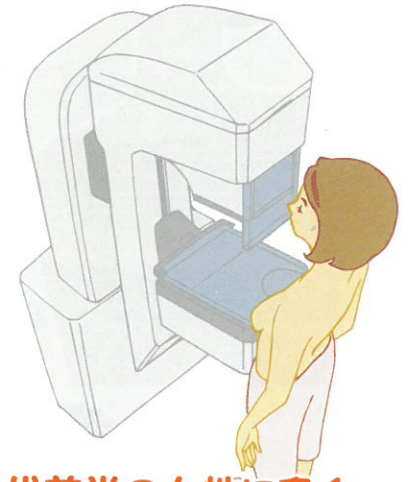
問診票を記載し、医師からの質問に答えます。

マンモグラフィ検査

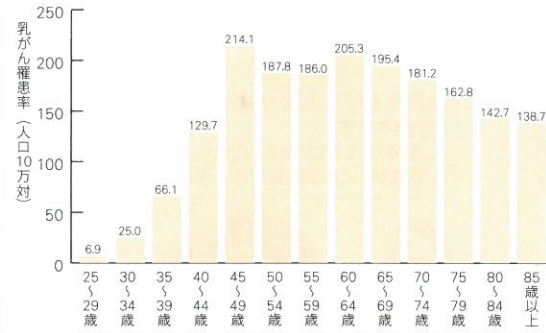
乳房専用のX線検査のことで、乳房を2枚の板で挟み、乳房全体を撮影します。

STEP3 結果を確認

40歳以上の方は、乳がん検診を2年に1度必ず受診してください。



乳がんは特に40代後半～50代前半の女性に多く、日本人女性の11人に1人が患うといわれています。



乳がんの罹患患者数は30代後半から増え始め、とくに40～50代は乳がんに注意が必要です。最近では60代も増えていて、欧米と似た傾向になっています。

早期発見のためには、マンモグラフィによる検査を定期的に行うことが大切です。40歳未満の方や妊娠中の方には、超音波検査を行うこともあります。

乳がんは早期に発見して治療すれば、95%以上が治癒します。

※気になる症状がある場合は、医療機関を受診してください。

出典: 国立がん研究センターがん対策情報センター 地域がん登録全国推計から (2012年)

継続が 予防につながる がん検診

* 検診をきっかけに生活習慣を見直しましょう。 2017年度 がん征圧スローガン



一般財団法人 沖縄県健康づくり財団
(日本対がん協会沖縄県支部)

沖縄県島尻郡南風原町字宮平212番地
南部保健所前バス停下車 1分

電話098-889-6474 <http://www.ganjuu.or.jp>